

Q 伝統産業についてですが、過日の総会において、技術職人の集団である若狭工房が伝統産業である漆器、めのう、和紙、かわらの四業種の後継者を育成しようとの思いから、長年培った伝統技術を市民に伝授するための講座、工芸教室を四十日にわたって開催するとある。

市長も、伝統産業の商品開発、改良に力を注いでいる若狭工房特産の塗箸産業等に対し活性化をすると共に、伝統産業の活性化を推進すると述べられているが、先人のご尽力により地域に培われてきた、このすばらしい伝統工芸を守り、継承、さらに発展させていくためには、いま一度行政の強力なバックアップが必要ではないかと考えるが、所見を伺いたい。

若狭工房については、昭和六十一年度より通産省の電源地域産業育成支援事業を受けて産地の低迷、高齢化、後継者不足が深刻化しております。若狭塗、若狭めのう、若狭和紙、若狭粘土瓦の四つの業種を集め、伝統工芸職人集団として結成され、異業種交流と時代に適応した新商品の開発、販路の拡大、産地のPR等を通じ産地の活性化を図っております。

特に、後継者不足は深刻な

問題でして、市においても国の伝統的工芸品の指定を受けている若狭めのう商工業協同組合と若狭漆器協同組合に対して伝統産業後継者育成事業補助金を交付いたしております。

若狭工房の総会においても後継者の育成と業界のすそ野拡大を目的とした工芸教室を今年度より積極的に取り組まれることを仄聞しておりますが、こうしたカルチャー教室や人材確保、ひいては後継者不足の解消と生産体制の確立につながるものと期待をしております。

若狭工房の事務局を市で持つており、こうした試みに対しましても、今後も、できる限りの助成を続けてまいりたいと考えております。

Q 心身の調和のとれた成人となるためには、学校教育を通じて系統的、計画的な学習をする一方、学校教育以外の日常生活を通じて自主的な生活体験、活動体験を豊富に積み重ねることが大切である。

学校教育は個人として必要とされる基礎的、基本的な内容を同年齢の学習集団の中で系統的、計画的に学習することと主な特色があるが、社会生活では学校教育の中で学習したところのある応用力、物事

議案番号	議案	及	び	結	果		
報告第3号	報告第3号				平成3年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	市長	報告受理
報告第4号	報告第4号				平成3年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について	〃	〃
報告第5号	報告第5号				平成3年度小浜市水道事業予算繰越の報告について	〃	〃
報告第6号	報告第6号				小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について	〃	〃
報告第7号	報告第7号				財団法人小浜市公共施設管理公社経営状況の報告について	〃	〃
報告第8号	報告第8号				小浜市土地開発公社経営状況の報告について	〃	〃
議案第49号	議案第49号				専決処分につき承認を求めるとについて	〃	原案認定
議案第50号	議案第50号				専決処分につき承認を求めるとについて	〃	〃
議案第51号	議案第51号				専決処分につき承認を求めるとについて	〃	〃
議案第52号	議案第52号				専決処分につき承認を求めるとについて	〃	〃
請願第1号	請願第1号				福井銀行旧玉前支店に係わる物件の取得並びに保存活用について	団体	撤回
陳情第7号	陳情第7号				前福井銀行玉前支店跡地利用について	〃	〃
議案第53号	議案第53号				平成4年度小浜市一般会計補正予算(第1号)	市長	原案可決
議案第54号	議案第54号				平成4年度小浜市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第55号	議案第55号				平成4年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第56号	議案第56号				平成4年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第57号	議案第57号				平成4年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第58号	議案第58号				小浜市ホームヘルパー等派遣手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃
議案第59号	議案第59号				小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第60号	議案第60号				小浜市国民健康保険条例の一部改正について	〃	〃
議案第61号	議案第61号				小浜市営駐車場設置及び管理条例の一部改正について	〃	〃
議案第62号	議案第62号				小浜市水道事業の取得等に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第63号	議案第63号				内外海漁港区域内の公有水面埋立について	〃	〃

に対する興味、関心や意欲、共同作業や共同生活を営むことのできる社会性、日々新たに生じる課題に立ち向かう精神力と体力、芸術や文化活動に親しむ等の教養など全人的な力が求められ、このような力は学校での教育や活動に加え、家庭生活などの日常生活の中で経験や地域での多様な総合的、体験的な活動の経験によって育まれるものである。

いづれにしても、教育方針の推進にあたっては学校、地域、家庭、一般社会にわたる積極的な連携対応が必要であり、小浜市の教育方針について、学校教育方針、集落PTA活動の推進、青少年教育の推進について質問をしたい。

小浜市の教育方針、学校教育において二十世紀に向けて自ら考え行動する自己教育力を養い、万物への感謝の念や奉仕の心を養い、不屈の精神に満ちた心身ともに健康なたくましい児童、生徒の育成を図るために学校教育の三本柱を定め、これが柱を実施するために一層の充実発展につとめております。

集落PTA活動の推進について、地域社会の教育力の高揚を図るために幼、保、小、中、高校の子供を持つ親が中心となって集落での話し合い

の充実に力を入れております。

集落の子供は集落で育てるといふ基本理念において月一回話し合いを持つ、これが集落PTAのねらいでございます。

月一回日を決めて、役員さんたちが話し合いを持つ、その結果を学校長へ届ける、それを受けて学校が対処するシステムになっております。

青少年教育の推進については、青少年の人間形成の上で必要な豊かな生活体験を意図的に準備し、提供することに力を置いております。

田烏に自然の家ができているのも、文部省が最近の子供が自然に親しむとか遊びを忘れてるんじゃないかならうか。

こういうことにおいて宿泊による人間関係をつくろう、他校の生徒と一緒に話し合い、遊びの場を持つとうということ、自然の家ができています。

Q原子力安全システム研究所について、本研究所については本年三月に大阪市西区に設立され、来年四月に京都府の京阪奈文化学術研究交流施設内に移転を予定していると承っている。

当初は大阪で発足させ、将来は福井県に研究所を設置し、原子力の信頼性向上に関する

議案及び結果

議案	結果
議案第64号 議案第65号 陳情第1号 陳情第2号	号の区域の変更について 東山手団地3号棟新築工事請負契約について 平成4年度水田農業政策対策について 官公労働者の一九九二年度賃金早期決定と労働時間短縮に関する陳情書
意見書案 第1号 意見書案 第2号	平成4年度水田農業政策対策に関する意見書 官公労働者の一九九二年度賃金早期決定と労働時間短縮に関する意見書
議案第66号 議案第67号	財産の取得について 監査委員の選任について 議会運営委員会委員の選出
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
市長	市長
議員	議員
市長	市長
議員	議員
原案同意	原案可決
選挙	採択
原案同意	採択

研究を行なう事にしてはいる。

すでに嶺南のある町において、これらの研究所の誘致に名のりを上げたやに承っているが、設立の目的は電力会社の原子力安全システムについて、社会及び技術の両面から第三者的立場に立った自由かつ活発な啓発を行なうことを目的としている。

原発集中地域からエネルギーの総合研究都市として発展いくためにも、これが研究所の誘致が必要と考えられるが、ご見解を承りたい。

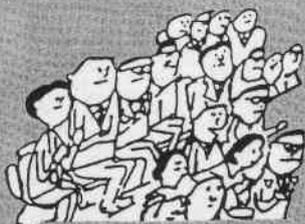
本市にとって、こうした研究施設の誘致は、ぜひ必要ですので、努力してまいりたい所存でございます。

平成4年 第4回定例会

平成4年第4回定例会は、
9月17日から9月28日まで
の予定で開会されます。

本会議を
傍聴しませんか!?

— 手続は簡単です —



くわしいことは
市議会事務局 ☎53-1111へ

傍聴席は約40席あります。
また体の不自由な人のため、
車いすでそのまま傍聴できる
席もあります。

意見書を可決 政府へ提出

平成四年度水田農業政策対策に関する意見書

小浜市の農業者は、我が国の農業諸政策を積極的に支援し、かつ良質米の生産に努力してきたところである。

しかし、米をめぐっては国内・外からの市場開放圧力の強まり、価格の低迷に加え、担い手の不足など、極めて難しいものがある。

かかる現況の中で、当地の農業者が米の国内自給を堅持し、将来展望に立った水田農業が営まれるよう次記事項の実現を強く要望する。

記

一、米の市場開放は阻止すること。

二、生産者米価は、生産者意欲の喚起の上からも引き上げる。

三、自主流通対策費は現状を維持すること。

四、将来展望に立った水田農業政策を確立すること。

以上、地方自治法第九九条第二項の規定により意見書を提出する。

官公労働者の一九九二年度賃金早期決定と労働時間短縮を求める意見書

我が国の官公労働者の賃金決定は、民間の決定時期より遅い精算となっている。

一方、週休二日制については国は五月から実施され、国際公約の年間総労働時間一、八〇〇時間に一步近づいている。

また、地方自治体において週休二日制を実施することにより、地域住民の生活にゆとりを生み出し、多様化に富んだ暮らしの実現の一助になるものと思考される。

よって、政府におかれては次記事項の実現を強く要望する。

記

一、官公労働者の一九九二年度賃金を早期に決定されること。

二、年間総労働時間一、八〇〇時間達成に向け努力されること。

以上、地方自治法第九九条第二項の規定により意見書を提出する。

人事

○ 監査委員

伊勢 謙次郎 議員

○ 議会運営委員会委員

石野 保 議員

福本 晃 議員

松尾 剛 議員

(議会運営委員会委員に三名の議員を選出した後、副委員長欠員に伴う互選を行ない、福本 晃 議員が副委員長に当選された。)

○ 公立小浜病院組合議会 議員

山藤 貞雄 議員

○ 若狭消防組合議会議員

浜岸 利一 議員

○ 若狭地区農業共済事務組合議会議員

浜岸 利一 議員

○ 人権擁護委員の推薦

丸山 昇 君

感謝状

議長、副議長在職中の功績をたたえられ、福井県市議会議長会から感謝状が授与され、六月定例会開会前に感謝状が伝達された。

前議長 山藤 貞雄 議員

前副議長 野村 定彦 議員

表彰状

全国市議会議長会、北信越市議会議長会から、二十五年間にわたる市議会議員として活躍の

木橋 正昭 議員

に表彰状が授与され、六月定例会開会前に表彰状の伝達がなされた。

8月臨時議会

公立小浜病院組合議会議員等の一部事務組合議会議員を選出

平成四年第三回小浜市議会臨時議会が八月十八日に招集された。

会期を十八日の一日限りとした後、直ちに議案の審議に入った。

農業集落排水事業宮川地区第二号工事請負契約について
口田縄一号線道路改良工事請負契約について

財産の取得について
の三議案を原案どおり可決した。

次いで、公立小浜病院組合議会議員
若狭消防組合議会議員
若狭地区農業共済事務組合議会議員

の一部事務組合議会議員の欠員に伴う補欠選挙を行ない閉会をした。

(選挙の結果は上記のとおり)